

令和5年度学校経営計画

令和4年度～令和6年度

校番	199	学校名	広島県尾道南高等学校	校長氏名	中野尚人	定時制	本校
----	-----	-----	------------	------	------	-----	----

1 教育目標

「明明徳」の建学の精神を継承し、常に自分を磨き、自分の誇りとアイデンティティーを確立するとともに、母校を愛し、社会に貢献できる人材を育成します。

2 育てたい生徒像

- (1) 基礎的、基本的な知識、技能そしてマナーを身につけている生徒
- (2) 自己肯定感が高く豊かな人間性を身につけている生徒
- (3) 想像力が豊かで他者と協働できる生徒

3 中期(4年間)経営目標 ※教育活動その他学校運営に関する目標

- (1) 授業改善を行い、一人の生徒もおいていかない授業を探究する。
- (2) 学校行事や生徒会活動に生徒が主体的に取り組む。
- (3) 自らを振り返り、アイデンティティーを確立し、仲間意識や帰属意識を高める。

4 短期(本年度)経営目標及び行動計画等 ※中期経営目標を達成するための本年度の経営目標及び行動計画等

短期 (本年度)経営 目標	本年度行動計画	評価指標	現状値	目標
生徒の主体性を引き出す授業改善	【総務・保健】 ホームページの更新回数を増やすことで、本校関係者及び本校の入学希望者に本校の教育活動を理解してもらおう。また、本校生徒の活躍の様子を紹介し、生徒の自己肯定感を高める。	ホームページ更新回数	41回	50回
	昨年始めたスタートアップセミナーを充実させることで、生徒の学校への定着を図る。また、オープンスクールなどの学校広報活動を通して、中学校関係者、保護者、入学希望者に本校の教育活動を理解してもらおう	事後アンケートにおいて肯定的評価80%以上	83%	85%
	【生徒支援】 自己決定の場を与え、自己の可能性の開発を援助する。	生徒の学校充実度(肯定的評価)	80%	80%
	生徒会行事を中心とした活動を生徒が企画・参加することにより主体性や協調性を身に付ける。	生徒会行事の満足度(肯定的評価)	80%	80%
	【教務】 生徒が主体的に学習しようとする意欲や態度を育て、基礎学力を向上・定着させる。	振り返りシートでの授業内容に関する肯定的評価の割合	89%	90%
	授業のルールを確立し、生徒の授業への出席を定着させる。	生徒の授業出席率	77%	80%
	「一人もおいていかない授業」へ向けて、個別最適な学びを進める授業改善を計画し実施する。	生徒の授業満足度	93%	95%
	【進路支援】 自己理解・他者理解を深め、社会の中での自分の在り方(生き方)を考えさせる取組や支援を行う。	キャリア教育関係の取組(総合的な探究の時間)について振り返りにおける肯定的評価の割合	85%	85%
	卒業後の社会的・職業的自立に向けて、職業選択や自己決定に関わる能力を育成する。	自らの進路実現に向けて意欲的に活動(就労・検定・ボランティア含む)している生徒の割合	66%	70%

短期(本年度)経営目標	本年度行動計画	評価指標	現状値	目標値
働き方改革を推進する	生徒と向き合う時間を確保する	生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	79.9%	80%

現状分析

外部環境分析 内部環境分析	機会(Opportunity)	脅威(Threat)
	<ul style="list-style-type: none"> ○支援・キャリア教育面における同窓会と連携がとれる。 ○尾道市、尾道市教育委員会からの協力を得ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○夜間定時制高校教育の現状や課題に対する理解が得られにくい。 ○県教育委員会からの情報が入りにくく、情報を得るのに時間がかかる。
強み(Strength)	強みを積極的にチャンスに生かすために	強みを生かして脅威を回避するために
<ul style="list-style-type: none"> ○支援員の先生やSSWの先生が配置されている。 ○小規模校であるため、すべての生徒に目が行き届く。 ○市立の夜間定時制の単独校であり、教育内容の独自性・特色を出しやすい。 ○カリキュラムマネジメントを考える上で、自由度が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ケース会議等を開き、個別の支援計画を作成し、学校全体で組織的に行うことができる。 ○一人一人に焦点を当てた個別最適な教育が可能。 ○学び直しなど4年間での教育を視野に柔軟に授業改善を行うことができる。 ○学校行事や生徒会行事など抜本的な改革が可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ハローワーク等関係機関との連携や計画的な企業訪問を行い、求人開拓や雇用拡大に努める。 ○ホームページ、学校だよりの改善を図るなどの広報活動を強化し、本校の活動を広く理解してもらう。 ○公開授業研究会を実施し、教育内容を広く公開する。 ○県や市が公募するイベントに積極的にチャレンジする。
弱み(Weakness)	チャンスを生かして弱みを改善するために	弱みと脅威で最悪状況に陥らないために
<ul style="list-style-type: none"> ○夜間定時制のニーズが求められていない。 ○教育予算が充分でない。(学校予算が市費でまかなわれるため、県ほど潤沢でない) ○人との接触が苦手な生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中高連携を密に行い、セイフティーネットであることをアピールしていく。 ○市教委や同窓会との連携を密にし、物のない分、人のつながりを強固にする。 ○人に慣れる活動から入り、昼間の時間帯をアルバイトにつなげるなど社会との接点をもたすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○尾道市教育委員会との連携を密に行う。 ○対話を重視し、休転退学を下げ、一人も置いてゆかない教育活動を徹底する。 ○授業改善を継続的に行う。 ○組織マネジメントの強化。 ○同窓会等外部の支援機関との連携を密に行う。